



KOURAKUEN
HOLDINGS



2021年8月5日

各 位

会 社 名 株式会社 幸楽苑ホールディングス
代表者の役職氏名 代表取締役社長 新井田 昇
(東証第一部 コード番号 7 5 5 4)
問 い 合 わ せ 先 常 務 取 締 役 渡 辺 秀 夫
T E L 0 2 4 - 9 4 3 - 3 3 5 1
<https://hd.kourakuen.co.jp/>

新中期経営計画策定のお知らせ

当社は、2022年3月期から2026年3月期までの5ヵ年を対象とする新中期経営計画「Kourakuen Next 500」を下記の通り策定しました。新型コロナウイルス感染症の拡大が継続する中、お客様の生活様式の変化を好機と捉え、当社はイトイン型の外食業態に留まることなく、総合食品企業への変革を目指しております。

今般の新中期経営計画では、ラーメン事業というコア事業の進化と、非外食事業という新たな領域にチャレンジし、持続的な成長を目指します。

記

1. 新中期経営計画の名称：Kourakuen Next 500
2. 対象期間：2022年3月期から2026年3月期を最終年度とする5年間
3. 経営方針：イトイン主体の外食企業から総合食品企業へと変革する
4. 5年後の姿：店舗数500店、売上500億円、営業利益50億円

<内訳>

外食事業：売上高400億円

幸楽苑店舗400店 新業態100店 計500店

非外食事業：売上高100億円

外販事業：売上高40億円

通販事業：売上高20億円

デリバリー事業：売上高15億円

からあげ直営事業：売上高15億円

からあげFC事業：売上高10億円

5. 経営戦略：

① 外食需要と非外食需要に対応した事業ポートフォリオの再構築

事業の多角化による経営基盤の安定化。新業態と外販による成長

・ 外食事業 80%，非外食事業 20%

・ 外食事業の内訳：幸楽苑 80%*，新業態 20%

（*海外事業 5%を含む）

・ 非外食事業：外販事業を成長のドライバーとして育成・拡大

② DX を活用した事業構造改革

・ タブレット・配膳ロボット・店舗クラウドカメラ・全部門のテレワークなど

③ 人的資源の最適化、経費削減による損益分岐点の引き下げ

④ SDGs の推進による社会的責任の実行

6. 中期的な経営数値目標

	2021年3月期	2022年3月期	2024年3月期	2026年3月期
売上	265億円	288億円	400億円	500億円
営業利益	△17.3億円	3億円	40億円	50億円
当期利益	△8.4億円	2.5億円	28億円	35億円
自己資本比率	18.4%	37%	42%	50%
1株あたり利益	△56円	15円	167円	208円
店舗数	437	435	460	500

以 上